

かがやき

会報
第16号

発行 三重県立看護大学同窓会

514-0116 三重県津市夢が丘 1-1-1 e-mail: dousokai@mcn.ac.jp

令和7年8月発行



<http://dosokai.link/mcndousokai/>



Contents

同窓会役員より…	②	総会報告……………	⑤
学長挨拶……………	②	夢緑祭……………	⑤
卒業生を追う……	③	活動報告……………	⑤
クラス会開催報告…	③	決算報告……………	⑥
同窓会講演会……	④	同窓会役員……………	⑥
同窓会グッズの紹介…	④	クラス会支援……	⑥

同窓会役員より

卒業生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。平素よりお世話になっております。同窓会執行部役員の9期生、荒木直人です。同窓会では卒業生の皆さんとつながりを保ち続けるために、講演会の開催や会報誌の発行など、さまざまな活動を行っています。

近年は、社会の変化のスピードが加速し、卒業生同士のつながり方にも多様性が求められるようになりました。SNSやオンラインツールの普及により便利になった一方で、対面での交流や世代を超えたつながりを築くことが以前にも増して難しくなってきたと感じています。

こうした時代だからこそ、同窓会の役割や活動の意義をあらためて大切にしていきたいと考えています。同窓会が、卒業生の皆さん一人ひとりを応援し、つながりを感じられる場となるよう、今後もさまざまな取り組みを続けてまいります。ぜひ、皆さんのご意見やご要望を同窓会へお寄せください。

三重県立看護大学同窓会 副会長 荒木 直人



学長挨拶

窓から見える緑が様々な色合いを出しています。一本の木でも先の方と根本ですと光の当たりようの違いでも見える色は異なり、なんとも豊かな季節のように感じます。

今年度になってから、急に行事が再開し始めたような気がしています。5月初旬にバングラデッシュ国へ出向き結構厳しい暑さの中、大学や病院の看護情報を訪ねていました。それぞれの大学で、看護学部の学生にお会いすることが出来ました。ユニフォームも様々な色合いで、国旗の色だったのだとあとで気が付くこともありました。コロナが始まる前と数年たってからの時間の違い、それぞれの土地が持つ成り立ちや事情の違いに自分の感覚が敏感になっていたのもあるのだろうと思います。少しずつ変化しているのだと思いながら過ごしました。

一方、6月には150を超える国々からの看護協会代表が集まる会議がフィンランドでありました。一週間経過する中で5000人の参加から8500人の人が参加したとアナウンスがされました。ずいぶんな違いではありますが、参加者の一人としては刻々と増える人の数を実感していましたので、素直にそうなのだ！とっていました。しかし、参加している方々の輪を外れて建物の外へ出たりしますと、空気は涼しく、外は音がないのか？と思うような異なる空気感の違いがありました。自分の感覚がバングラデッシュの環境と比較したものになっていることに気が付きました。バングラデッシュの看護職も北欧の看護職も、凛とした方々でした。

これら2つの国を2か月たたずに訪問し、地球上の人々の営む生活の違いに戸惑いながらも語り合う中で、ふっとそれを忘れて、様々な感情が動く時間を過ごしました。プチお知らせでした。

三重県立看護大学学長 片田 範子
令和7年6月



卒業生を追う Vol. 7 卒業生(3年以下)からのメッセージ

伊藤 友香 大学23期

公衆衛生看護学実習を経て、すぐに結果が出なくても、長期的かつ広域的な視点も持ちながら地域で暮らす人々の生活に寄り添いたいと思い、保健師を志しました。

現在、三重県内で保健師として働かせていただき、難病患者さんや精神疾患を持つ方、結核患者さん等への支援に関わらせていただいています。

地域においては、ケアマネージャー、訪問看護師等たくさんの専門職者が対象者個人やその家族に関わっています。

その中で、自分が保健師として果たせる役割について悩むことがありました。

しかし、関わっていた方から「あなたに話を聞いてもらえて良かった。」と言ってくれたとき、地域で暮らす方にとって相談しやすい存在になれる関係づくりの大切さを痛感しました。また、困った時に相談できる相手として保健師の存在を認識していただくことは孤立を防止する1つのきっかけになると感じました。

今後も、地域の方から相談しやすい存在であり、その人らしさ、生活を大切にできる保健師を目指したいと思います。個別支援から地域を診て、住み慣れた地域でのより良い暮らしに繋がるために、保健師として果たせる役割について考え、実践に繋げていきたいです。

最後に、今も違う場所で働く三重県立看護大学で共に学んだ同窓生の活躍を祈念いたします。

河西 瑠香 大学24期

看護師として働き1年が経ちました。外科病棟に配属され、最初は分からないことだらけで、初めて経験することも多く、不安なことばかりで緊張していました。しかし優しい先輩方に恵まれ積極的に相談できる環境で働くことができています。私が毎日元気に働くことができていたのも優しい先輩方や同期のおかげで本当に周囲の環境に恵まれていると思うため、日々感謝し責任感を持って働いていきたいと思えます。また、日々忙しく働くなかで患者さんが元気になって退院していく姿を見るととても嬉しく、やりがいを感じます。そして、1年働いてみて、改めて基礎が大事だと感じています。まだまだ経験や知識も不足しているため、日々学習しよりよい看護ができるよう精進していきたいと思えます。

在校生のみなさん、毎日実習や国試の勉強など大変だと思いますが、身体に気をつけて頑張ってください。

クラス会開催報告(令和6年5月)

私たち令和元年度卒業、第20期生は新型コロナウイルス感染症の流行により卒業式、謝恩会が中止となった学年です。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、またみんなで集まりたいという思いから大学にて同窓会を開催しました。県内外から卒業生42名、お世話になった先生方9名が集まりました。中には卒業ぶりに大学に来たという人もいて、当時の思い出に浸りながら、仕事やプライベートの近況報告、ビンゴで盛り上がりました。これからも定期的に関わりたいと思っていますので、今回参加できなかった方も含め、また集まりましょう!!



同窓会講演会

昨年度よりスタートした同窓会主催の講演会ですが、令和7年3月1日（土）に第2回同窓会講演会を開催いたしました。今回は、日本初の“漫才式セミナー講師”として注目を集めているWマコトのお二人を講師にお迎えし、「笑撃！バラエティ番組から学ぶコミュニケーション向上委員会」というテーマで参加型の講演を行っていただきました。講演では誰もが日常に活かせる「笑いの五原則」や、個性を尊重したチームづくりのヒントをわかりやすくお話しくださいました。

今回の講演会は、会場での対面参加と zoom を使ったオンライン参加のハイブリット方式で開催いたしました。参加者からは、職場で活かせるヒントが得られた、参加型でとても楽しかったなどの感想があり、大変満足度の高い講演会になりました。ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

同窓会では今後も、同窓生の皆さんが「つながり」を感じられる機会を大切にし、より多くの方に参加していただける企画を実施してまいります。



同窓会グッズの紹介

卒業生への寄贈品として、蛍光マーカーとクリアファイルを作成しました。



総会報告

令和6年7月13日（土）対面及びオンラインにて同窓会本部総会を開催しました。総会では、令和5年度の本部活動報告、決算報告、令和6年度の予算案、会則の改正、クラス会開催支援規定の改正等についての検討・決議が行われました。



夢緑祭

令和6年7月13日（土）大学にて、夢緑祭が開催されました。当日は、同窓会の活動を知ってもらおうと、これまで発行された会報誌や同窓会グッズの配布ブースを設置した他、同窓会会員の募集について周知を行いました。

在校生に対しても同窓会の活動が見えるよう、今後も情報発信を行っていきます。



活動報告

令和5年5月13日	本部役員会	令和6年1月30日	令和5年度卒業生への加入説明会
6月24日	本部役員会		卒業生へ蛍光マーカー寄贈
7月9日	本部総会開催	2月3日	本部役員会
10月14日	本部役員会	3月2日	第1回三重県立看護大学同窓会講演会開催
		3月16日	令和5年度卒業証書・学位記授与式出席
		3月18日	地域交流センターとの打合せ

決算報告

令和5年度 三重県立看護大学同窓会決算

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	収入済額	備考
1 入会金等	1,200,000	840,000	令和5年度卒業生分 (64名)
2 雑入	110	195	預金利子
3 繰越金	13,686,985	13,686,985	
収入合計	14,887,095	14,527,180	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	支出済額	備考
1 事業費	1,150,000	1,086,318	講演会講師謝礼、卒業式記念品
2 一般管理	485,000	242,993	委託費用(会員名・住所管理費、ホームページ管理費、データ投下費)、税理士契約料
3 支部活動費	140,000	0	
4 予備費	100,000	4,698	消耗品費等
5 繰越金	13,012,095	13,193,171	
支出合計	14,887,095	14,527,180	
差引残高	13,193,171		次年度へ繰越

同窓会役員

令和6年度 執行部役員

役職	氏名	期生
会長	岡根 利津	大学第2期
副会長	乾 明菜	大学第6期
	荒木 直人	大学第9期
会計	米倉 一美	短大第7期
	桑原 久美子	大学第5期
監事	信太 照美	大学第2期
	稲垣 志芳	大学第16期

役職	氏名	期生
理事	河合 富美子	短大第2期
	大平 肇子	短大第7期
	山野 恵律子	大学第5期
	太田 美佳	短大第20期
	長谷川 実佳	短大第20期

クラス会支援

同窓生相互の親睦を深める活動の一環として、クラス会の開催支援を行っています。支援内容は、同窓会加入者一人あたり500円の開催支援金の給付です。交付条件には、事前に申請が必要であることや、出席者が5名以上であること、ホームページ及び会報誌へのクラス会開催に関する掲載に同意することなどがあります。メールのみで手続きできますのでぜひご活用ください。

詳しくは、同窓会ホームページをご覧ください。